

た よ り



〒518-0814 伊賀市上友生785番地

TEL&FAX: 0595 (21) 8839

URL: <http://www.iga.ed.jp/igaken>E-mail: iga-ken@iga.ed.jp

2 学期の始まりにあたって

いま、学校は2学期が始まったばかりです。夏休みの解放感から切り替えて、学習と学校生活に集中する大切な時期です。教室では、児童生徒の成長を支えるために、優しさと厳しさをバランスよく持ち合わせた指導が教師に求められます。



長い夏休み明けで、生活リズムや気持ちの切り替えが難しい子どもたちがいます。子ども一人一人の状況を理解し、寄り添う姿勢が大切です。そして、子どもの小さな成長も見逃さず、褒めることで、子どものモチベーションを高めていきましょう。

また、残暑の時期は7、8月のピーク時ほどではないにしても、気温や湿度は依然として高く、家庭で過ごすことが多かった子どもたちは、体が暑さに慣れていません。休み明けの体調管理にも十分に気をつけてください。

ずっと気になっています

この夏休み中は、熊本の地震、千葉の水害と立て続けに自然災害が発生し、多くの地域住民が被災されました。この度の災害により被害を受けられた方々に心よりお見舞い申し上げます。そして、被災された皆様の安全と一日も早い復興を心よりお祈りいたします。

一連の報道の中で、わたしはずっと気になっていることがあります。

それは、「イオン熊本でなぜあのような爆発が起こったのか」ということです。教育研究センターでもプロパンガスを使用していますので、とても他人事とは思えません。通常、ガスボンベとガス管をつなぐ元配管には感震計が設置されており、震度5以上でガスの供給は遮断されます。今回の熊本地震ではこの感震計が揺れを検知していたはずですが、であれば、ガスの供給がストップしていたのに、ガス配管の中に残っていたガスの漏れだけであのような大爆発が起こるのかという疑問が残ります。したがって、事故調査委員会の結論は、今後の防災対策に大きな影響を与える可能性があり、注目し続けたいと考えています。